

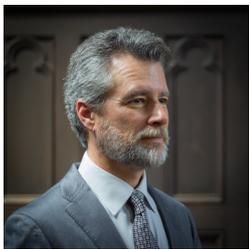


The Newsletter of the All Saints' Choir Alumni Association, Rikkyo University

立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊OB・OG会報

第15号(2018年10月発行)

立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊 隊長 スコット・ショウ



猛暑が続きますがOB・OG会の皆様、いかがお過ごしでしょうか？先日、聖歌隊春学期の主日礼拝奉仕が終わりました。夏合宿を控え、4年生が復帰し、混声聖歌隊、女声聖歌隊、合計約80名で活躍しています。秋学期はとても強い聖歌隊になると思います。

私事ですが、秋学期は定年退職前の最後の研究休暇を頂きます。休暇中は作曲、アレンジ、それに関連する事柄や読書、他教会の聖歌隊の状況調査する予定です。ご存知の方もおられると思いますが、2019年度は聖歌隊の100周年記念です。特別な年に相応しいイベントも研究休暇中に考えます。

秋学期は以前、聖歌隊長を務めたジェームズ・ドーソン先生が代理で指導されます。経験もあり、状況も理解され、もちろん日本語を話す方ですのでとても安心して任せられます。学生たちにとっても雰囲気が変わり、新しい発見や違った音楽に触れる良い機会となることを願っています。礼拝や秋のレクイエム奉唱会(10月27日)に参加し、ドーソン先生をサポートして下さい。

最後に、総会が新しく生まれ変わり、現役とOB・OG会が共に練習し、歌う機会が出来た「歌による夕の祈り」(Evensong)という礼拝は素晴らしいと思います。役員メンバーの努力に感謝します。これからもOB・OG会の活動をどうぞよろしくお願いいたします。

立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊 OB・OG会長 長田 睦子



主の平和

初めに、この夏の高温・豪雨・台風等で被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます。そうした折ですが、OB・OGの皆様におかれましては、お元気で過ごして下さい。

「現役の皆様にとっては頼もしい、OB・OGの皆様にとっては楽しいOB・OG会を目指して、運営の改革やら、100周年に向けての新企画に取組中です。

その手始めとして、レインボーコンサート翌週の6月30日(土)に総会と晩禱を実施しました。

現役の皆様と心と声をあわせてアンセムやチャントを練習し、豊かな礼拝をお捧げすることができました。やはり聖歌隊は礼拝で賛美してこそと思えたひと時でした。

一歩一歩ではございますが、より頼もしくより楽しくを目指してまいりますので、皆様のご指導・ご鞭撻、ご協力をよろしくお願いいたします。

聖歌隊創部100周年に向けて —ご一緒に100周年を祝いませんか—

立教大学は、1874年にチャニング・ムーア・ウィリアムズ主教が築地開市場内設立した、聖書と英学を教える私塾「立教学校」から始まりました。1918年には池袋に移転。チャペルも献堂、ガントレット先生らのご尽力により1919年に聖歌隊が産声をあげました。その後、歴代の隊長をはじめ隊員の皆さまのご努力、そして支えてくださった皆様のお蔭をもって聖歌隊は2019年に創部100周年を迎えようとしています。

OB・OG会では、この節目に寄付による現役応援と主催記念事業によってさらに多くのOB・OGに聖歌隊諸活動への興味を呼びさましていただき、会の隆盛、現役聖歌隊・大学の発展に寄与したいと考えています。諸企画の具体化に向け皆さまからのご意見・ご要望、並びに情報を広く募集します。

【100周年史に関して】

先人の功績を記録し、将来への糧とするために聖歌隊100年史をまとめたいと思います(2023年までに完成予定)。

☆ライター(記事のまとめをする方)募集

相当量の情報が集まると見込まれるので、ご興味・熱意があり、できれば編集経験のある方を募集します。

☆情報の募集

100周年史の元資料になる情報を募集しています。

例えば

- ・聖歌隊創設時に関する資料を持っている。
- ・「レクイエム奉唱会」の演奏曲目が年度毎にわかる。写真がある。
- ・「マタイ奉唱会」の始まりがわかる。写真がある。
- ・「演奏旅行」の資料(実施年、旅行先、演奏曲目など)がある。

又、関係情報がありそうなところに心当たりがあるということも大歓迎です。

【奉唱会に関して】

次のような取り組みを計画中です。

☆J.S.Bachマタイ受難曲奉唱

2020年4月にマタイ受難曲を奉唱しませんか。場所は池袋チャペル。

全曲とはいかなくても、合唱はもとよりソロも我々で。歌いたい曲は何番ですか。

☆レクイエム奉唱(時期未定)

聖歌隊にゆかりあるブランスタッド先生のハーブを、猿田先生ご令嬢に弾いていただいてフォーレクイエムの奉唱。

【礼拝に関して】

☆100周年記念総会と礼拝(2019年度)

☆特別に許可を得て、プロパーを用いて行う文語でのハイマス。

【寄付に関して】

100周年を記念して現役に寄付予定。これに備え年会費の他に賛助会費を常時受付中。

ライターの応募、情報の提供、ご意見・ご要望などはOB・OG会ホームページ「お問い合わせ」から。内容の初めに100周年とご記載ください。

○賛助金協力者 ご芳名(2017年度)敬称略

・1950年代

古谷 俊次 松野 裕子 板橋 志津子 今井 和道 内藤 博子 野田 敏子 樋口 洋子 小川 春乃 坂本 敬
佐藤 健二郎(10名)

・1960年代

小野 翠 中川 直美 成田 弘子 古市 欣生 檀上 仁江 橋本 圭子 糟谷 證 糟谷 愛 高橋 委作 高橋 芙木
滝口 俊子 谷 市三 竜崎 嘉明 高橋 宏子 河野 礼子 西 章 内田 研吾 田中 桂子(18名)

・1970年代

相澤 牧人 植野 さなえ 根岸 恵子 荒牧 節子 大西 信一 大西 礼子 植野 幸和 須藤 恵子 銭元 伸一 伊藤 正人
高木 慎二 石原 雄二 桐迫 馨代 伊藤 弥寿世 阿部 智子 長田 睦子 須藤 茂 佐々 義子
鈴木 雅美(19名)

・1980年代

齊藤 敦子 玉野 克子 広瀬 幹郎 堀 英樹 相浦 猛 相浦 智 紅林 東史子 稲村 佳子 内田 幸子 鈴木 喜正(10名)

・1990年代

汲原 早希 小泉 穰記子 内藤 香苗 松岡 恵子 長塚 望(5名)

・2000年代

一條 加奈 小林 留衣 矢作 理恵 朝吹 絵美(4名)

・2010年代

鈴木 裕子 伊藤 優 石原 慎子 伊藤 玲於 佐藤 徳之進(5名)

○年会費納入者 ご芳名(2017年度)敬称略

・1950年代

鶴川 馨 古谷 俊次 大山 省三 松野 裕子 板橋 志津子 今井 和道 内藤 博子 野田 敏子 樋口 洋子
青木 瑞恵 小川 春乃 坂本 敬 佐藤 健二郎(13名)

・1960年代

小野 翠 中川 直美 成田 弘子 古市 欣生 檀上 仁江 鳥井 祥子 橋本 圭子 糟谷 證 糟谷 愛 高木 邦子
高橋 委作 高橋 芙木 滝口 俊子 谷 市三 竜崎 嘉明 高橋 宏子 宮谷 仁太郎 宮谷 祥子 河野 礼子 西 章
菊池 滋子 鶴岡 道子 内田 研吾 田中 桂子(24名)

・1970年代

相澤 牧人 植野 さなえ 根岸 恵子 荒牧 節子 大西 信一 大西 礼子 植野 幸和 河野 純子 小林 悦子
須藤 恵子 銭元 伸一 伊藤 正人 岩田 次郎 渋澤 博子 高木 慎二 徳住 光則 石原 雄二 伊藤 勉 榎本 ひろ美
梶ヶ谷 淑子 桐迫 馨代 伊藤 弥寿世 掛川 祐司 阿部 智子 長田 睦子 須藤 茂 湯浅 宣子 佐々 義子
鈴木 雅美 田澤 利之 谷井 浩 安田 裕子(32名)

・1980年代

齊藤 敦子 玉野 克子 藤岡 比左志 廣瀬 幹郎 八月朔日 圭子 細谷 厚子 佐藤 美子 渡辺 順子 堀 英樹
相浦 猛 相浦 智 小野 信明 紅林 東史子 稲村 佳子 内田 幸子 鈴木 喜正(16名)

・1990年代

善木 洋子 汲原 早希 大野 菜穂子 小泉 穰記子 内藤 香苗 大野 恭義 松岡 恵子 武藤 早苗 長塚 望
谷田 千尋 古谷 秀子(11名)

・2000年代

平賀 雅枝 岡本 領 宮崎 幹子 一條 加奈 岡本 絵美 鈴木 陽介 遠藤 麻美 大森 文恵 小林 留衣
矢作 理恵 近藤 英幸 朝吹 絵美 木村 公優 日置 春海(15名)

・2010年代

鈴木 裕子 吉井 孝幸 金指 もと子 吉敷 浩光 李 宰勲 豊田 あつみ 南雲 香織 磯部 佳奈子 伊藤 優
清水 友佳子 長谷川 俊 吉井 恵 石原 慎子 大原 千波 櫻井 理恵子 永田 満里奈 伊藤 玲於 佐藤 徳之進
夏迫 梨紗 浦本 康平 大木 祥子 岡嶋 綾子 田中 鈴子 中村 星介 平山 盾矢 岡野 一広(26名)

2018年度 OB・OG総会・晩祷

2018年度のOB・OG総会は、前年までの形式を変更し、チャペル内で総会を開催した後、現役聖歌隊員とともに晩祷を捧げる形といたしました。当日の様子を写真とともに紹介いたします。



開会挨拶 長田会長



総会報告 吉井副会長(詳細は次ページ)



現役活動報告 2018年度代表長藤さん



英国研修報告 実行委員長浅野さん



現役聖歌隊員とともに晩祷で奉唱いたしました



新入隊員による奉唱

立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊 OB・OG会

2018年総会報告

2018年7月31日 役員会副会長 吉井 孝幸

本年のOB・OG総会は、従来の総会-レセプション形式を改め、総会をチャペルで行い、その後はそのまま晩祷を捧げる形式にいたしました。タイムスケジュールの事情からレインボーコンサートとの別日開催を試行した結果、出席人数の点で課題が残りましたが、現役とともに晩祷を捧げるというスタイルについては好評をいただくことができました。

当日の議題については下記の通りとなり、すべて承認されました。

【議題】

- I. 2017年度会計報告
- II. 役員 の 期中 退任
- III. 財政健全化策の進捗について
- IV. 中期活動計画の発表

【I. 2017年度会計報告】 ※2017年1月1日～12月31日

【収入の部】

繰越金	311,676
年会費 139名	278,000
賛助金 82名	355,500
収入合計	633,500
合計	945,176

【支出の部】

郵送代（通信費）	119,952
消耗品費	5,217
会報等印刷代	32,536
小平霊園管理料	1,000
HPドメイン費	3,402
HPリニューアル費	50,000
振込手数料	648
英国研修補助	100,000
支出合計	312,755
繰越残高	632,421
合計	945,176

【II. 役員 の 期中 退任】

退任 : 1名 渡辺順子

【III. 財政健全化策の進捗について】

前期末(2016年度)より実行してきた財政健全化のための各プランが奏功し、2017年度会計の繰越残高は過去最高の水準となりました。繰越残高は2年度連続の大幅な回復傾向にあり、今次総会の会計報告を以って2015年末に発生した危機的状況は解消されました。

しかしながら、今後も上記各施策の実施のほか、その根底となる皆様のご協力が必要です。皆様の継続的なお力添えを賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

また、今期前半にて実行してきた財政再計策を「中期活動計画」(次ページ以降)としてまとめました。今後、役員会は本計画に基づいて活動を行い、より安定した財務状況の実現を図ってまいります。

【IV. 中期活動計画の発表】

次ページ以降参照

以上

中期活動計画 (2017年度-2019年度)

Outline

1. 近年の活動状況と現状認識
2. 今期基本方針
3. 具体的施策

2018/4/10
立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊
OB・OG役員会

1. 活動状況と現状認識 ①今期初頭～現在の活動内容

100周年関連や現役人数増加から、近い将来の高コスト体質化が予想される
⇒より一層の財務状況健全化と中期的な視点に基づいた運営が求められる

【今期 (2017-2019)】

①**財政再建策の施行** : 2016年度に立案。2017年度中は支出抑制・緊縮策を中心に実施した。
2018年度はさらに収入増加策も実行し、100周年に向けて財務状況の安定化を図る。



②**ガバナンス強化** : 下記を策定し、運営（役員会活動）におけるガバナンスを強化

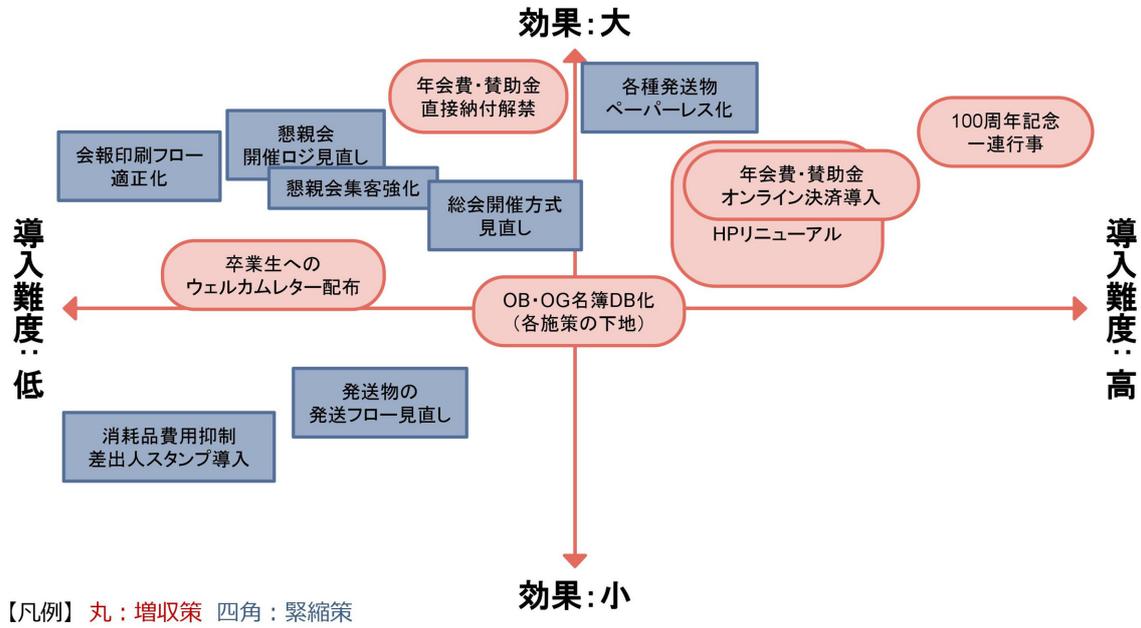
1. 個人情報保護方針
2. 所管業務一覧
3. 決済権限一覧
4. 中期活動計画
5. 現役内規改定



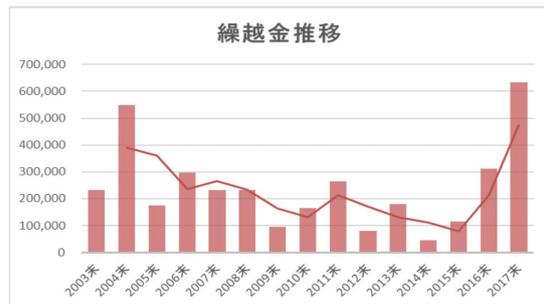
※対症療法であった「財政再建策」を体系的な「中期活動計画」へ昇華

③**その他** : 新役員の発掘
→2017年卒の浦本さん就任による①若年層OB・OGへのアプローチおよび
②大所帯となった現役との連携強化を実現。

1. 活動状況と現状認識 ② 財政再建策概要



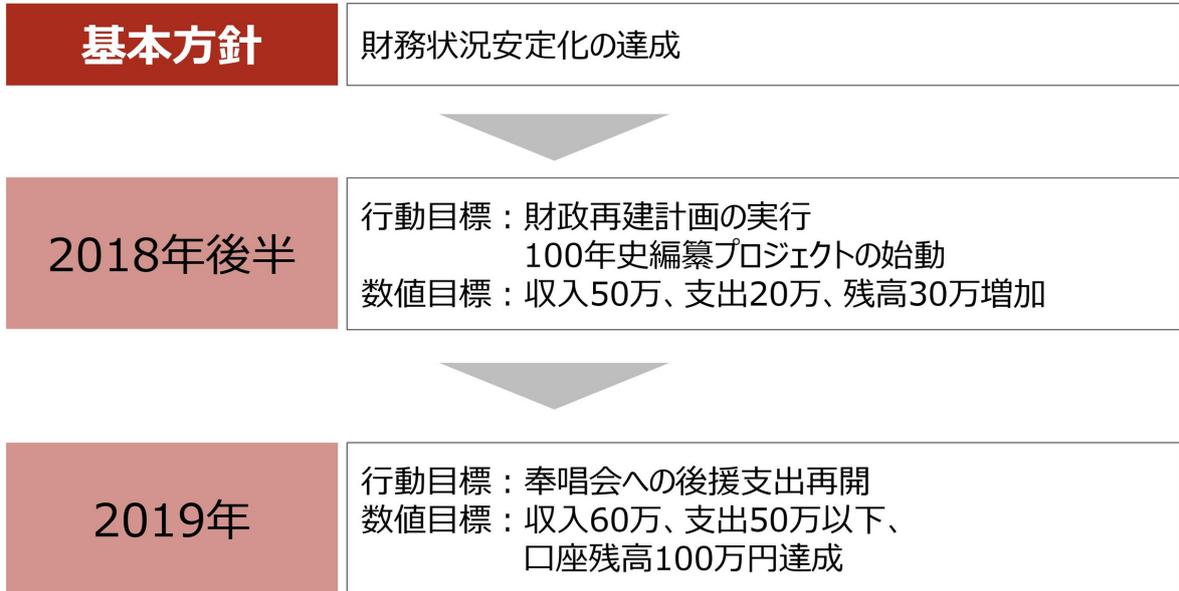
1. 活動状況と現状認識 ③ 現状認識



【近年の現状認識】

- 2015年まで収入・次年度繰越金ともに減少傾向
- 2016年初頭より財政再建策を始動。
⇒収入は減少傾向に歯止め
⇒2017年末、繰越金は過去最高の水準へ
- 2017年に入り、月ベースの口座残高は確実に回復傾向へ転換

2. 今期基本方針



3. 今期基本方針の具体的施策等

	行動内容	数値目標
2018年度	①下記計画を効率的に遂行するための体制変更 ⇒総会にて実施 ②財政再建計画の推進 ⇒年会費・賛助金のオンライン決済導入@HP ③100年史編纂プロジェクト始動 ④100周年記念一連行事（2020年）の準備	【収入】 50万円（2017年と同等と仮定） 【支出】 20万円未満に抑制 3月：ウェルカムレター付属品費用（済、1万円） 5月：レインボークンサート・総会開催通知発送（済、3.6万円） 6月：総会開催ロジ費用（約5万円と想定） 9月：レクイエム奉唱会開催通知・会報発送（約8万円） 【合計】 2017年度繰越金から残高30万円増加
2019年度	①2018年度の結果を受けた財政再建計画の見直し ②奉唱会への後援支出再開 ←財務状況悪化を受け、2016年度より停止中 ③100年史編纂プロジェクト始動 ④現役の100周年記念行事への協力 ⑤100周年記念一連行事（2020年）への準備	【収入】 60万円（カード決済導入、会員増を加味） 【支出】 50万円未満に抑制 3月：ウェルカムレター付属品費用（済、1万円） 4月：レインボークンサート・総会開催通知発送（約4万円想定） 6月：レインボークンサート後援支出（10万円） 100周年総会開催ロジ費用（約5万円想定） 9月：レクイエム奉唱会開催通知・会報発送（約8万円） 10月：レクイエム奉唱会后援支出（10万円） 【合計】 2018年度繰越金から残高10万円以上の増加 年度中に口座残高100万円を突破

現役聖歌隊 2017年活動報告、2018年活動計画

2018年度公式文書
コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科3年
川越美穂

2017、2018年共に、より充実した奉唱を目指し活動しております。

昨年10月のレクイエム奉唱会では、フォーレのレクイエムを歌いました。現役学生が曲中のソリストを務める等、学生にとっても、隊全体にとっても成長実感を得られるコンサートとなりました。

12月はメサイア演奏会、Lessons & Carols、クリスマス礼拝にて歌わせて頂きました。クリスマス礼拝においては、イブ礼拝は混声聖歌隊が池袋キャンパススタッカーホール、女声聖歌隊が新座キャンパス聖パウロ礼拝堂での奉仕、その後の深夜ミサ、第3聖餐式は混声・女声合同での奉仕という様に二つの聖歌隊の存在を活かした活動ができました。

クリスマスの後、1月のスタッフ任命式を以って、2017年度スタッフと2018年度スタッフの代替わりとなりました。今年度は計23名のスタッフで運営を行っております。

英国研修後の4月はイースター、入学式、新歓活動など多くの行事があり、忙しくも充実した月となりました。また、新歓活動では女性21名、男性6名と計27名の新入生を最終的に迎えることができました。5月20日のペンテコステ礼拝は、女声聖歌隊単独での奉仕であったことに加え、女声聖歌隊1年生の聖餐式奉仕デビューを果たせた奉仕にできました。翌週5月27日には混声聖歌隊1年生も聖餐式奉仕デビューを果たし、新入生の活動を本格化することができました。

6月23日のレインボーコンサートでは1年生を交えた曲、英国研修中のコンサートでも披露した曲など、様々な曲を幅広く歌わせていただくことができました。英国研修からの練習成果を出し切り、満足のいくコンサートとなりました。

秋学期は研究休暇を迎えるショウ先生に代わり、ジェームズ・ドーソン先生を迎え活動に励んでいきます。レクイエム奉唱会ではモーツァルトのレクイエムを奉唱する予定ですので是非足を運んでいただければと思います。大所帯となった聖歌隊ですが、OB・OG皆様の御力添えのもと、活動できておりますことを感謝申し上げます。皆様のご支援に支えられていることを忘れず、今後の活動も尽力して参ります。今後もおご支援の程、宜しく申し上げます。



英国教会音楽研修を終えて

立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊代表
文学部文学科日本文学専修3年
長藤菜々

英国教会音楽研修実行委員会委員長
社会学部メディア社会学科3年
浅野皓貴

立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊は、2018年2月21日から3月7日までの14日間、英国にて教会音楽研修を行いました。48名の学生が参加し、聖歌隊長のスコット・ショウ先生、学院オルガニストの崎山裕子先生、チャプレン長の五十嵐正司先生にご同行いただきました。研修では、GodmanchesterのSt. Mary's ChurchとCanterbury Cathedralにてコンサートを行わせていただきました。また、St. Catharine's collegeのWickham先生とSelwyn collegeのSarah先生によるご指導を受ける機会にも恵まれました。



今回の研修では、隊員一人一人が英国国教会の礼拝や伝統文化を理解すること、音楽的技術の向上の2点を目的としていました。これらの目的は、隊員それぞれが英国で実際に体感することで達成されたと考えております。聖公会発祥の地である英国の教会や大学の晩祷・主日聖餐式に出席したことは、日々の礼拝や奉仕活動について考えることができる貴重な機会となりました。加えて、多くの現地聖歌隊の演奏を間近で聴くことができたという点も、今後の聖歌隊での活動の支えとなる大変価値のある経験です。

加えて、伝統ある大学聖歌隊の先生方によるご指導も、聖歌隊の音楽的技術の向上や、隊員それぞれの音楽に対する姿勢を再確認することができる機会であったと感じております。また、行わせていただいたコンサートでは、重ねてきた練習の成果を実際に披露し、たくさんの感想を直接いただいたことに感銘を受けました。演奏のあとに教会中に響いた温かい拍手の音はとても印象的です。このような経験は、研修の中だけではなく、研修に向けた練習や準備を通しての成長を感じることができた出来事でもあります。

ピーターバラ大聖堂の聖餐式に出席した際には、大聖堂の音楽担当である司祭さまが温かく迎えてくださり、祭壇前が大聖堂の中で最も残響が素晴らしいエリアだと案内していただきました。さらに同日に出席した晩祷では、当初予定していた派遣聖歌を、私たち聖歌隊が祭壇前で歌った『日本聖公会聖歌集』第31番「日暮れて闇深まり」に差し替えてくださいました。前奏が始まった瞬間の感動は今でも忘れられません。このような経験は、英国研修ならではのものであり、多くの隊員にとって印象深い思い出となりました。

この研修は、日ごろから私たちの活動をお見守りくださるOB・OGの皆様のお力添えがなければ実現することはできませんでした。改めて、深く感謝申し上げます。英国での学びはこれからの奉仕活動に生かし、皆様に還元していく所存です。現役一同、聖歌隊のますますの発展を目指し邁進してまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



各種ご案内

現役聖歌隊卒業生に記念品をお渡ししました

役員会では4年生の卒業祝いとして、「卒業後は聖歌隊OB・OG会として今度は現役世代を支援する立場になっていただきたい」との願いも込め、何か記念になるものを贈りたいと提案がありました。

現役役員とも相談して品選びをした結果、聖歌隊オリジナルのフードプリンティングクッキーを贈ることができました。製作は皆様おなじみの洋菓子店アンリ・シャルパンティエに依頼しました。



現役聖歌隊 レクイエム奉唱会のお知らせ

日時:2018年10月27日(土)

開場:18:00 開演18:30 入場無料

於:立教学院諸聖徒礼拝堂(池袋チャペル)

*今年はモーツアルトのRequiemを奉唱いたします。

*指揮は研究休暇中のスコット・ショウ先生に代わり、ジェームズ・ドーソン先生がご担当されます。

是非池袋チャペルへ足をお運びください。

【聖歌隊公式CDも販売中です!】

*販売方法:立教大学での直接受け渡し/郵送

下記のメールアドレスへご連絡ください。

rikkyochoir.cd@gmail.com (聖歌隊公式CD販売担当)



立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊OB・OG会報第15号

【発行日】2018年10月12日

【発行元】立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊OB・OG会事務局

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

立教大学ロイドホール5F スコット・ショウ研究室